



文化講座

様々な専門分野を持つ学芸員等の研究成果をわかりやすく紹介します。



ぶんぱくワークショップ

どなたでも楽しみながら学べるワークショップです。



さをり織体験・着付体験

当館ボランティアによる「さをり織でティーマット作り体験」・「十二単・鎧の着付体験」を開催しています。



クリスマスマーケット

お菓子やクラフト作品、アクセサリーなどのお店が並び、コンサートやワークショップなどをお楽しみいただけるイベントです。



各種講座・イベントの詳細や申し込み方法などは、当館ホームページをご覧ください。その他 SNS にて当館の最新情報をリアルタイムで配信しています。



INFORMATION

■休館日

- 月曜日（祝日及び特別展開催期間中を除く）
 - 年末年始（12月29日～1月3日）
- ※ 7月5日（金）・6日（土）・7日（日）は、館内メンテナンスのため休館

■開館時間

[通常期] 9:30～17:30（入館は17:00まで）
 [特別展開催時] 9:30～18:30（入館は18:00まで）

■観覧料

大人200円／大学・高校生150円／中学生以下無料
 ※特別展開催時は料金が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。
 ※20名以上の団体で2割引、65歳以上の方は半額、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・ミライID手帳提示の方と介護者1名は半額
 ※シニアいきいきパスポートの提示で無料

■レストラン

海鮮フレンチ まるせいゆ（文化博物館敷地内）
 TEL: 078-917-9797 定休日: 月曜日（祝日の場合は火曜日に振替）
 ※詳しくはお問い合わせください。

■ギャラリー・大会議室利用

美術展・書道展・写真展などに利用できるギャラリー、講演会・研修会などに利用できる大会議室の貸館を行っています。
 ※料金や使用手続きについては、ホームページをご覧くださいか、お問い合わせください。

お得な年間観覧券（ぶんぱくパスポート）のご案内

発行日から1年間、何度でも当館の展覧会をご観覧いただけます。また、市内の提携店で提示すると、特典が受けられます。

大人 **1,200円** / 大高生 **900円**

※有効期間：発行日から1年間 お申込みは当館受付にて



提携店特典詳細

■アクセス

電 車：JR神戸線、山陽電鉄「明石」駅下車
 県立明石公園のお堀東側を北上、徒歩5分
 自動車：第二神明大蔵谷出口より南西へ10分
 第二神明伊川谷出口（東行きのみ）より南へ10分

■駐車場

駐車台数：32台
 1台1時間につき100円
 （ただし、1時間未満の端数は1時間とします）
 ※駐車台数が限られるため、公共交通機関、又は近隣の有料駐車場（地図参照）をご利用ください。
 ※マイクパス等でのご来館は、事前にお問い合わせください。



明石市立文化博物館

〒673-0846 明石市上ノ丸2丁目13番1号
 TEL 078-918-5400 FAX 078-918-5409
 URL <https://www.akashibunpaku.com/>



▲ホームページ



EXHIBITION SCHEDULE

2024年度

展覧会
 スケジュール



明石市立文化博物館

春季特別展

エルマーのぼうけん展

2024.3.23日～5.19日 **会期中無休**

りゅうの子を助けに行った男の子エルマーが、誰も傷つけることなく知恵を絞り、困難を乗り越えていく冒険物語『エルマーのぼうけん』シリーズ。出版から半世紀以上たった現在でも世界中の子どもたちに愛されています。

本展では、渡辺茂男氏の翻訳による日本語版出版60周年を記念し、日本初となる貴重な原画や資料を公開します。繊細で美しい原画の数々、体験型展示など、子どもから大人まで、物語の世界を味わうことが出来るこの展覧会で、あの頃のぼうけん心呼び覚ましてみませんか？



「エルマーと16びきのりゅう」原画(1951年)
© Dragon Tology Irrevocable Trust / Karlan Collection of Children's Literature, University of Minnesota Libraries, USA.

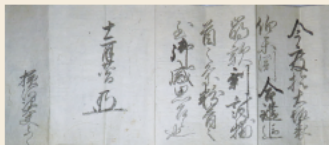
企画展

東二見 横河家の功績

— 大坂の陣から近代建築まで —

2024.6.1日～6.30日

「横河家って聞いたことありますか?」「東京に横河〇〇という会社があるね。」「そうです!」「東二見に二見横河公園というものもあるね。」「そうそう、それです!」室町時代から東二見に拠点を置いていたと伝わる横河家より、旧宅跡や大量の資料群が明石市に寄贈されました。今回は、その資料をたっぷり展示するほか、東二見から神戸や東京に出た子孫の活躍も紹介します。横河家の活躍や功績をみなさんに知っていただく機会となることを願っています。



横河重隆が大坂の陣で活躍したときにいただいた、徳川家康の感状(折紙、当館所蔵)

夏季特別展

迷路遊びからお城イラストへ

— 香川元太郎の作品世界 —

2024.7.13日～9.1日 **会期中無休**

子どもの頃、積み木を使った迷路遊びにのめりこんだ香川元太郎氏は、迷路のような日本のお城のづくりに惹かれ、お城を描くようになり、日本を代表するお城の復元イラストレーターとなりました。本展では、迷路で遊びながらお城イラストを鑑賞していただけます。子どもの頃の遊びが、作品制作に展開していく過程を感じてみませんか。



「大名の城」(「忍者の迷路」より 2018年)

企画展

明石藩の世界Ⅱ

— 藩主忠国が創った『源氏物語』遺跡と俳諧文学 —

2024.9.14日～10.14日(祝)

5代藩主松平忠国は文学に通じ、文学遺跡として『源氏物語』ゆかりの名所を明石に創設しました。また江戸時代には、『源氏物語』の翻案小説である『脩紫田舎源氏』の流行や、明石を訪れた松尾芭蕉をはじめ多くの俳人が俳諧文学を盛り上げるなど、文学は身近なものであったことがわかります。

本展では、江戸時代に描かれた源氏物語絵巻明石巻のほか、明石藩土黒田家資料や明石の俳人たちの作品などを中心に、明石からみる江戸時代の文学事情を紹介します。



明石入道の浜の館で琴を弾く光源氏「源氏物語絵巻 明石巻」(部分、丹波篠山市教育委員会所蔵)

企画展

発掘された明石の歴史展

— 明石の寺院跡 —

2024.10.26日～12.1日

市内及び周辺の遺跡からの出土品を、時代やテーマを変えて毎年実施しているシリーズです。今年は、「明石の寺院跡」をテーマに、明石地域の古代から近世にかけての寺院跡から発掘された出土品をとりあげます。明石市内で最古の寺院である太寺庵寺跡から出土した瓦や塑像片などをはじめ、中世の律宗寺院であった報恩寺跡から出土した鬼瓦や文字瓦などを展示し、明石で華開いた仏教文化の歴史を紹介します。



報恩寺跡出土鬼瓦

企画展

明石の布団太鼓Ⅱ

— 彫刻と刺繍に見る匠の技 —

2024.12.14日～2025.1.13日(祝)

明石をはじめ播磨地域から淡路にかけて、布団屋根をもつ太鼓台が普及しています。この太鼓台に付属する狭間に施された彫刻や、水引幕、高欄掛などに施す刺繍は、名工たちが心血を注いで作り上げた芸術品といえるものです。明石市内や淡路地域等に残る太鼓台に使われていた彫刻や刺繍などから、江戸時代からの伝統を受け継いだ匠の技をご堪能ください。



明石濱谷地区布団太鼓の高欄掛

企画展

郷土作家シリーズ 村上翔雲展

2025.1.4日～1.26日

明石を中心に活動した書家、村上翔雲は1971(昭和46)年に名筆研究会を創設し、「漢字とかなの両方で書かれていて読むことができる」「現代の詩を現代の書で表現する」現代詩書の制作と普及に努めました。本展では2020(令和2)年に明石市へ寄贈された作品を中心に、松尾芭蕉の句、山頭火の詩句などを、書道の基本に軸を置きつつも、従来の型にとらわれることなく、感動を与える線質の確かさと、完成されたデフォルメによる芸術的な筆致で表現した作品の数々をご紹介します。



山頭火 雨の日は雨を聴く

企画展

くらしのうつりかわり展

2025.1.25日～3.16日

今では大きく様変わりした昭和時代のくらしの様子を、当時の道具や写真などで振り返ります。昔の道具や遊びの体験もでき、知る世代にはなつかしい、知らない世代はわくわくする、昭和レトロが学べる展覧会です。

※本展覧会は小学校の社会科・総合学習の参考展として、毎年多くの学校観覧でご来館いただいています。見学申込みは9月頃に開始予定です。詳しくはお問い合わせください。



真空管ラジオ

その他展覧会

明石市近隣の高校生・大学生が博物館とともに作り上げる展覧会「あかし若手アートチャレンジ」や、市民参加型の写真公募展を開催します。



あかし若手アートチャレンジ



写真展